

2018年 近畿エリア（兵庫県）：改定部分に関する問題

第三章 問30

鎮咳去痰薬とその有効成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 鎮咳去痰薬は、反射的に出る咳を鎮めることやその原因となる痰の切れをよくすることを目的とする医薬品の総称であり、喘息症状を和らげることを目的とする医薬品は含まない。
- b. ジヒドロコデインリン酸塩を含む医薬品は、原則12歳未満の小児に使用しないよう注意喚起を行う必要がある。
- c. コデインリン酸塩は麻薬性鎮咳成分とも呼ばれる。
- d. ジヒドロコデインリン酸塩は、胃腸の運動を低下させる作用も示す。

【解説】

- a. × 鎮咳去痰薬は、咳を鎮める、痰の切れを良くする、喘息症状を和らげることを目的とする医薬品の総称。
- b. ○ 手引き改定部分より出題。
- c. ○
- d. ○ 副作用として便秘が現れることがある。

第三章 問57

殺菌消毒成分に関する記述について、正しい組み合わせはどれか。

- a. クレゾール石鹼液は、結核菌を含む一般細菌類、真菌類に対して比較的広い殺菌消毒作用を示すが、大部分のウイルスに対する殺菌消毒作用はない。
- b. エタノールは、粘膜刺激性があり、粘膜面や目の周り、傷がある部分への使用は避けることとされている。
- c. 次亜塩素酸ナトリウムは、皮膚刺激性が弱いため、手指の消毒に適している。
- d. トリクロロイソシアヌル酸は、プール等の大型設備の殺菌・消毒に用いられることが多い。

【解説】

- a. ○ 「大部分の」という言葉が手引き改定により追加された。
- b. ○
- c. × 強い酸化力により一般細菌類、真菌類、ウイルス全般に対する殺菌消毒作用を示すが、皮膚刺激性が強いため、通常人体の消毒には用いられない。
- d. ○

第四章 問 82

医薬品医療機器等法施行規則第 159 条の 8 第 1 項に規定されている販売従事登録の登録事項について誤っているものはどれか。

1. 登録番号及び登録年月日
2. 本籍地都道府県名、氏名、生年月日及び性別
3. 登録販売者試験合格の年月
4. 厚生労働大臣が必要と認める事項
5. 試験施行地都道府県名

【解説】

4. × 厚生労働大臣ではなくて都道府県知事。

第四章 問 90

医薬品医療機器等法施行規則第 1 条の第 2 項第 3 号に規定されている薬剤師不在時間に関する記述の正誤について正しい組み合わせはどれか。

- a. 薬局の開店時間のうち、当該薬局において調剤に従事する薬剤師が学校薬剤師の業務やあらかじめ予定されている定期的な業務のため恒常的に薬剤師が不在となる時間を薬剤師不在時間という。
- b. 薬剤師不在時間内は、調剤室を閉鎖するとともに、薬剤師が不在のため調剤に応じることができない旨等を、該当薬局の見やすい場所に掲示しなければならない。
- c. 薬剤師不在時間内は、法第 7 条第 1 項又は第 2 項の規定による薬局の管理を行う薬剤師が、薬剤師不在時間内に当該薬局において勤務している従事者と連絡ができる体制を備えていなければならない。
- d. 薬剤師不在時間内であっても、薬局に登録販売者が勤務している場合には、第一類医薬品を販売することができる。

【解説】

- a. × 当該薬局で一時的に薬剤師が不在になることは薬剤師不在時間として認められるが、あらかじめ予定されている定期的な業務によって恒常的に薬剤師が不在となる時間は認められない。
- b. ○
- c. ○
- d. ×

第五章 問 116

次の医薬品成分とその成分を含む一般用医薬品の添付文書の「次の人は使用（服用）しないこと」に記載されている使用を避けるべき人との組み合わせの正誤について、正しいものはどれか。

- a. リゾチーム塩酸塩－牛乳によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- b. タンニン酸アルブミン－鶏卵によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- c. プソイドエフェドリン塩酸塩－前立腺肥大による排尿困難の症状がある人
- d. インドメタシン－ぜんそくを起こしたことがある人

【解説】

- a. × 牛乳ではなく、鶏卵。リゾチーム塩酸塩の内用剤は、有用性が確認できないという理由で手引きより削除となったが、外用剤ではまだ削除されていない。今年も出題されているので、「抗炎症酵素であること」と、「鶏卵アレルギーのある人には使用を避ける」ということは覚えておく。リゾチームは、鼻水や痰などのネバネバ系の症状に使われていた成分なので、生卵の卵白のイメージとして覚えておくと良い。
- b. × タンニン酸アルブミンは、タンニン酸の部分がメインの収れん成分（下痢止め）だが、アレルギーの原因になるのはアルブミンの方。アルブミンはカゼインとタンニン酸より合成されるが、ここで安定剤として用いられているカゼインは、牛乳の抽出成分である。それにより牛乳アレルギーのある人は使用しないこととなっている。
- c. ○ 交感神経刺激薬
- d. ○ 外用消炎鎮痛成分（NSAIDs）